

# Ohmi net

No. 56  
 11・12月号



おうみネット

●発行日/2006年11月1日 ●発行所/(財)淡海文化振興財団

## CONTENTS

■特集:淡海とぴくす

「今の  
 学校教育で  
 一番深刻と  
 思うのは？」

学校とNPOがつながる  
 ~開かれた学校から見えてきたこと②



## この日なんの日? N

月 MON	火 TUE	水 WED
		11月 1 点字記念日 滋賀教育の日
6 お見合い記念日 ★	7 おうみ市民活動フォーラム	8 いい歯の日 NPO活動推進自治
13 ★	14	15 七五三
20 世界のこどもの日 地域安全の日 (毎月20日) ★	21 インターネット記念日	22 いい夫婦の日
27 更生保護記念日 ★	28 税関記念日	29 議会開設記念日
4  ★	5	6
11 ★	12 漢字の日	13
18 ★	19	20 道路交通法施行記念日 地域安全の日 (毎月20日)
25 クリスマス ★	26	27

■支える・つなぐ・結ぶ  
 情報BOX ① ⑩

■孫の手ナビ ⑥

【そこが知りたい!NPO運営術 VOL.4】  
 【Sekenよし!】滋賀銀行  
 営業統括部しがざんハローサポート

■元気NPO探し隊 ⑦

- 学生有志企画団体 U-si
- 環境学び舎 わのたね
- ハートフル・プラザ「誰にもやさしいまちづくりを進める会」

■Ohmi net  
 INFORMATION  
 11月・12月 ⑨





※このページは1ページと10ページで1つのCONTENTSとなっております。掲示用としてお使いいただけます。

### 助成金情報

#### 平成19年度(第13回)キリン福祉財団公募事業

対象事業 ● 「地域における子育てに関わるボランティア活動」に対し助成します。「地域」・「子育て」・「ボランティア」をキーワードとし、地域における、お子様に関わる幅広い活動に対して助成いたします。対象となる活動については、上記のキーワードに合致していれば特に分野は問いません。例として、母親、乳幼児、小中高生、障害児、超世代(世代間交流)等に対する活動が対象になります。

対象団体 ● 地域でのお子様に関わる、福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループで、法人格の有無は問いません。

実施期間 ● 平成19年4月～平成20年3月

助成金額 ● 1件(一団体)当りの上限額 30万円

受付期間 ● 11月22日(水)まで(当日消印有効)

詳細HP ● <http://www.kirin.co.jp/active/social/foundation/>

☎(財)キリン福祉財団事務局

〒104-8288 東京都中央区新川1丁目10番1号

TEL:03-5540-3522

#### 日本郵政公社「寄附金付き年賀葉書・年賀切手」による寄附金の配分団体募集

日本郵政公社では、平成19年度年賀寄附金の配分団体を募集しています。社会福祉、文化財保護、青少年の健全育成、地球環境保全、その他の分野にわたり助成いたします。詳細は、日本郵政公社ホームページに掲載されている「配分申請要領」をご参照ください。なお、このホームページには配分申請要領、申請書の様式、および問い合わせの多い質問と回答等が掲載されています。

詳細HP ● <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

受付期間 ● 11月30日(木)まで(当日消印有効)

申請可能額 ● 申請額の上限は500万円/申請は1団体1件のみ、なお今回から実施される「活動」チャレンジプログラムは上限50万円。

☎日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局

〒100-8798 千代田区霞が関1丁目3番2号 TEL:03-3504-4401

#### JT 青少年育成に関するNPO助成事業

応募資格 ●

1. 非営利法人であること。
2. 2006年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績を有すること。
3. 法人の設立目的や活動内容が、政治、宗教、思想等に偏っていないこと。

実施期間 ● 2007年4月1日～2008年3月31日に実施を計画している事業であること。

助成対象経費 ● 申請事業に関わる事業費及び人件費

限度額 ● 年額最高150万円 / 件

助成件数 ● 40件程度

対象事業 ● 非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業。

※ 育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

応募期間 ● 11月20日まで(当日消印有効)

詳細HP: <http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/npo/index.html>

☎日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

TEL:03-5572-4290



▼情報BOXに掲載できなかった情報は、センターのホームページに多数掲載しています。

URL ● <http://www.ohmi-net.com/>

▼11月・12月の掲示板 情報募集! 日時・場所・問合せ等を明記の上、12月1日までにEメール、FAX、または郵便でセンターまでお寄せください。

### 市民活動情報

#### きつき・きっかけ・きずなボランティア2006 ～つくるう、誰もが安心して暮らせるまちを!～

▶ 12月3日(日) 10:00～16:00

内容 ● 誰もが心豊かにいきいきと、安心して暮らせる社会地域の構築をめざし、また、「全国ボランティアフェスティバルびわこ」で広がったボランティア・市民活動が一層活性化することを目的として、「きつき・きっかけ・きずなボランティア2006」を開催します。

会場 ● 県立長寿社会福祉センター(草津市笠山7-8-138)

プログラム ● 9:30～受付/10:00～開会/10:10～11:45 第1部・記念講演/13:15～16:00 第2部・分科会

参加料 ● 無料(但し、記念講演・分科会は、事前申込みが必要)

☎きつき・きっかけ・きずなボランティア2006実行委員会(滋賀県社会福祉協議会)

TEL:077-567-3924 FAX:077-567-5160

URL: <http://www.shigashakyoy.jp/top/v2006.pdf>

#### 「妻も夫も活き活きと」～これからの長い人生を共に考えよう～

☆PART1: まずはふたりででかけよう

▶ 11月18日(土) 13:30～16:00

内容 ● 岡田ファミリーあったかコンサート・余韻トーク(悠遊楽主宰/吉見精二さん)

☆PART2

▶ 12月9日(土) 13:30～16:00

内容 ● 講演「これからの人生を自分らしく生きる」(NPO法人市民熱人代表/阿部圭宏さん)・パネルディスカッション以下、両日とも…

場所 ● 彦根市北老人福祉センター

「ハビネスひこね」

参加費 ● なし

※できればペアでお申し込みください。

(滋賀県男女共同参画県民提案事業)

主催 ● 滋賀県

実施団体 ● (特活) NPOほほハウス

☎ハビネスひこね

TEL/FAX:0749-27-6701

e-mail: [popohappy@ex.biwa.ne.jp](mailto:popohappy@ex.biwa.ne.jp)

#### 第5回近江中世城跡 琵琶湖一周のろし駅伝

▶ 11月23日(木) 10:00～12:00

内容 ● 県内の(一部岐阜県を含む)中世の城跡から「のろし」を上げ、リレー状につなぎ、琵琶湖周辺を一周します。各城跡ではそれぞれの催しを同時に開催します。

場所 ● 県内各地約45カ所、関ヶ原含む

参加費 ● なし

☎近江中世城跡保存団体連絡会

酒井進

TEL:0749-54-1533

e-mail: [mime-izu@mx.biwa.ne.jp](mailto:mime-izu@mx.biwa.ne.jp)

#### 平成18年度ボランティア・NPOファーストステップセミナー ライフビジョンコース 「シニア活動隊★養成塾」

☆第1プログラム

▶ 11月18日(土) 10:00～17:00

場所 ● 大津市市民活動センター

内容 ● 講演「深刻化する少子高齢化とシニアの生き方」他

講師: NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ 会長/高畑敬一氏

☆第2プログラム

▶ 11月24日(金)～12月2日(土)の間(随時)

場所 ● 大津、草津、彦根、甲賀の各市の市民活動団体にて

内容 ● ボランティア・NPO体験学習 ※必ず申込みが必要。1、2両方の受講が条件。交通費除き、参加費無料。

先着60名募集。

主催 ● 滋賀県

☎NPO法人大津NPOセンター

TEL:090-1904-1104または

077-527-8661(市民活動センター)

#### 医をめぐる勉強会

▶ 11月12日(日) 13:30～16:30

内容 ● 医をめぐる勉強会では、毎回、様々な立場で医療に関する専門的なお話をさせていただくゲストにおいていただいています。知識もその人の想いも、まず「知る」ところから理解が深まります。でも、直接、その声を聞く機会は限られています。お気軽においてになって、その声を聞いてみませんか。

「がんと秘密」

ゲスト: まつばらけいこ氏(フリーライター、「子宮・卵巣がんのサポートグループあいあい」主宰)

場所 ● 大津市生涯学習センター(4F視聴覚室)

大津市本丸町6番50号(JR膳所駅から徒歩20分・京阪膳所本町駅から徒歩5分)

参加費 ● 会員500円、非会員1,000円 ※ 当日参加可

☎医をめぐる勉強会

TEL:0748-83-0603

e-mail: [y-kaze@mte.biglobe.ne.jp](mailto:y-kaze@mte.biglobe.ne.jp)

#### 大津市南部障害児学童(ボレボレ)ボランティア体験日

草津養護学校に通う滋賀県大津市内の小・中学生の知的障害児のための学童保育を士または日曜(10:00～15:00)に開所しています。皆さんもボランティアとして子どもたちと遊びませんか?

▶ 11月11日(土) 9:40～15:30

場所 ● 滋賀県立障害者福祉センター(所在地: 滋賀県草津市笠山8丁目5-130 自転車・バイク・自動車駐車場可)

内容 ● 実際に子供達と接して頂き、その後、簡単な講座を持ちます。

持ち物・その他 ● 上靴、動きやすい服装

☎昼: 松本 077-543-6025

夜: 西川 077-537-5782

URL: <http://www.geocities.jp/polepolechildren/>

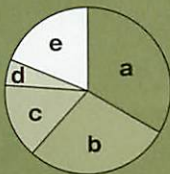


# 「今の 学校教育で 一番深刻と 思うのは？」

学校とNPOが繋がる  
～開かれた学校から見えてきたこと

## Q1

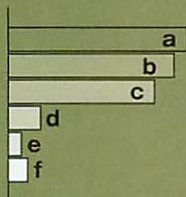
中学生の頃  
一番の悩みは  
何でしたか？



- a. 友だち…33.3%
- b. 成績・進路…28.3%
- c. 身体…14.5%
- d. 先生のこと…5.0%
- e. その他…18.9%

## Q2

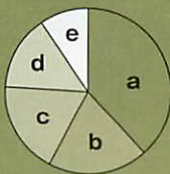
今の学校教育で  
一番深刻と思うのは？  
(複数回答)



- a. 学力低下…55
- b. いじめ…51
- c. 学級崩壊…45
- d. 非行…10
- e. 不登校…4
- f. その他…6

## Q3

あなたが  
学ぶとしたら次は？



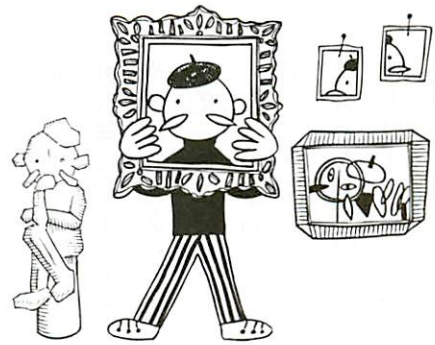
- a. 仕事に必要な資格講座…38.3%
- b. 外国語などのカルチャー教室…19.5%
- c. 市民大学などの講座…18.2%
- d. 大学・大学院…14.5%

アンケート：携帯情報メール発信会社「j2メール」協力  
回答者 総数170名 男性64名 女性82名 不明24名  
10代…2名 20～30歳…31名 31～40歳…52名  
41～50歳…35名 51歳以上…21名 不明…29名

【1・2月号のアンケート】

次回1・2月号は「会社法改正」をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくはP.9をご覧ください。

## この日なんの日 V・O・I・C・E



## 感謝・寛容で生まれ、深まる生と業

今年5月から表紙がカレンダー形式のレイアウトになった「おうみネット」。その巻頭コラムを毎回書くようになってから「今月はどんな月」、「今日は何の日」と気になります。無数の思いが様々に重なる記念日。12月12日は、漢字の日です。「災」「虎」など硬くシャープな漢字が選ばれがちですが、去年をあらわす言葉は、「愛」でした。今年、どんな漢字が選ばれるのか。私なら「飛」と元気よくいきたいものです。優しい響きをもつ「ひらがな」で今年を表すとしたら、どんなことばを選びましょうか。

◇あらゆるものがつながっている。

先月16日は、「母なる地球に1日の休息を与えよう」の日。母なる地球に1日の休息を与えよう「電気のコンセントを抜いて」というキャンペーンが1992年ネイティブ・アメリカン(アメリカ先住民)らの有志によって呼びかけられたそうです。(2003年6月22日からはじまった日本での「100万人のキャンドルナイト」の原型ともいえる取り組みですね。)[なにかを決定するときには7世代あとまで考えなければいけない]というネイティブ・アメリカンの教えも胸に響きます。これを現代風にいうと、市民の社会的責任(Civil Social Responsibility)といえるのではないのでしょうか。身の丈で出来る地域のいいことづくり。

## ◇感謝・寛容で生まれ、深まる生と業

11月、12月の記念日を見ると感謝・寛容に関する記念日がたくさんあります。11月16日国際寛容デー、11月23日勤労感謝の日、12月3日国際障害者デー、12月10日世界人権デー、12月25日はクリスマス等々。生業とは生活を営むための仕事のこと、草の種(なりわいはくさのたね)ともいいます。草の種ほど多い生業を、拝金主義ではないライフスタイルの一部として、地域で見つけられる仕組みづくりを考える時代です。自分の生まれ育った土地が物心ともに豊かであるなら、人はその土地で愛する者と暮らしていきたい。障害の有無を問わず、女性、若者、高齢者も地域の主役として輝ける。そんな地域での新しいワークシェアリングをどうつくるべきか。11月7日おうみ市民活動フォーラム『新しい公益を考えるマルチパートナーシップの時代』で、参加者の皆様と一緒に考えてみたいと思います。



これからの担う子どもたち。その子どもたちの人間性や社会性を豊かに育むためには、学校だけではなく、様々な主体が連携し、子どもを見守り、育てていく必要があります。今年から滋賀県では、十一月一日を「滋賀教育の日」と決めました。教育について考え、社会全体で子どもを見守り、育ちを支える環境づくりを促進するための日です。そこで、今回は、NPOと学校の連携から教育を考えてみたいと思います。

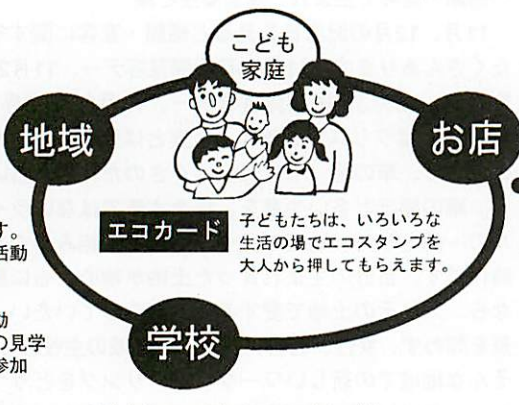
## 兵庫県西宮市での取り組み・LEAF（リーフ）の環境学習支援

兵庫県西宮市は、二〇〇三年に全国初の「環境学習都市宣言」を行った。そこで、子どもたちの環境教育（学習）に取り組むNPOがある。「NPO法人こども環境活動支援協会（Learning and Ecological Activities Foundation for children）..通称LEAF（リーフ）」である。リーフは一九九八年に、子どもたちの環境活動を地域や学校などあらゆる場で支援することを目的に設立された。

リーフが行っている活動は、「エコカード」システムによる環境学習支援がベースとなっている。「エコカード」とは、市とリーフが共同開発したもので、子どもたちが環境学習や活動に参加すれば、学校や地域の大人からスタンプを押してもらえるといるものである。そのスタン

プが一〇個集まると、「アースレンジャーⅡ地球を守る人」として、認定証がもらえる仕組みになっている。設立当時から事務局スタッフとして関わってきた長手さん（現事務局次長）は、「このシステムを始めた当初は、エコカードの認知度はまだまだで、学校側に受け入れてもらえないようになるまではずいぶん時間がかかりました。」と当時の苦労を笑顔で語る。印刷物ができても、単に送るのではなく、直接学校に持って行って説明をするなどして徐々にコミュニケーションを深める努力をしてきたという。今では学校側から様々な相談が寄せられるようになってきたということだ。

このカードの特徴は、学びが学校の中だけで終わらずに、子どもの生活に結びつけて実行できるところにある。そのため、家庭や地域の人たちも協力して、子

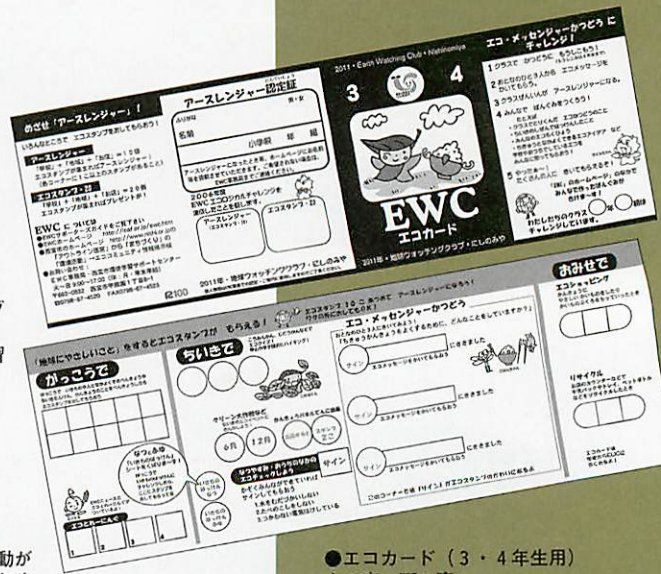


- 地域団体の人にエコスタンプを押してもらいます。
  - ・自然に親しむ活動
  - ・町の美化活動
  - ・ごみ減量
  - ・リサイクル活動
  - ・環境関連施設の見学
  - ・環境イベント参加
  - ・エコクイズ

- 先生やPTAの会でエコスタンプを押してもらいます。
  - ・教科学習
  - ・総合的な学習の時間
  - ・海外、国内活動グループとの交流や支援活動
  - ・施設見学
  - ・クラブ活動

- お店の受付カウンター等でエコスタンプを押してもらいます。
  - ・マイバック活動
  - ・リサイクル活動
  - ・エコショッピング
  - ・グリーン購入
  - ・お店での環境学習

学校・家庭・地域をつなぐエコカード。エコスタンプを押すことで子どもたちのまわりの環境活動が「目に見えるかたち」となる。エコカードは発達段階に応じて、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用に分かれている。2003年からは中学生以上の「エコアクションカード」もできた。



●エコカード（3・4年生用）  
上：表 下：裏



どもを見守り、育てる必要がある。「子どもたちは案外狭い世界で生きています。このカードをきっかけに、様々な大人と出会い、関わりをもつ中で、多様な価値観を身につけていって欲しいと思います。」と長手さんは語る。

また、リーフはPTA活動への支援も行っている。西宮市では親たちがリーフの助言や協力を得て、教師とともに授業をつくったり、教師が作る年間カリキュラムに対して親やリーフが意見を交わし、提案できるようにしている。これにより、親が子どもの教育に主体的に関わっていきけるのだという。リーフ事務局の小川雅由さん（元リーフ事務局長）は、「教育の主体は親です。先生は自分がやるものだと思います」と、親や地域は関わりにくくなるだろうと思います。先生は、数年で変わりますが、親や地域は子どもと長く関わっていきます。教師は、子どもが地域で育っていくことを支援する立場から関わっていきばいいのではないのでしょうか。」と、親や地域の大切さを語る。

さらに、リーフは学校と企業をつなぐ役割も果たしている。学校では「外部人材」の需要が高まり、その一つとして、企業がある。しかし、学校や企業が単独でつながり合うことは難しい。そこで、リーフがつなぎ役を行い、なるべく両者に負担をかけない形で、コーディネート

を行っている。

その他リーフは、学校の教員向けの研修や小学校六年間を通じた環境学習プログラムの開発など幅広い活動を行っている。

「私たちは、学校だけで行うことが難しい部分を色々かつないでいます。こういう団体は必要だと思いますが、将来的

「NPO法人子ども環境活動支援協会」



企業との連携による授業風景。

- 住所：兵庫県西宮市甲風園1丁目8-1  
ゆとり生活館「アミ」1F
- TEL/FAX：0798-69-1185
- URL：http://leaf.or.jp/
- e-mail：kodomo@leaf.or.jp
- 活動内容：
  - ①環境学習システム・プログラムの開発
  - ②学習・活動の受託やアドバイス
  - ③多様な主体とのパートナーシップ事業 など
- 会員数：正会員（個人）198名（団体）84団体

様々な主体で会を構成。中でも、企業会員が約3分の1を占める。この特徴を活かし、「企業・学校・NPOによる環境学習支援プログラム」の開発を2002年より実施。企業同士、企業と学校のコーディネートはリーフが行う。市の環境学習事業「地球ウォッチングクラブ」は環境省（当時）の「子どもエコクラブ」の基本モデルとなっており、1998年からはリーフが受託。リーフ設立当初より西宮市教育次長が理事として就任するなど、学校との連携にも力を入れている。エコカードは、市内全小学生に配布され、現在、その数約27,000人。エコスタンプを押す店舗や施設・地域団体などの協力数は約2,100。家族でアースレンジャーになる「アースレンジャーファミリー」や、クラスで取り組む「エコメッセンジャー」・「エコトレード活動」などエコカードを充実させるサブシステムも用意されている。

には地域の中でたくさんこうした人やNPOが出てきてくれればと思います。また、「エコカード」もあくまでもきっかけづくりであって、今後はあのカードがなくても、人と人がつながり、自然にエコ活動がされるようになればと思っています。」と今後の目標を語った。

滋賀県での取り組み・子どもの育ちを支えるために

一方、滋賀県でも、学校とNPOのつながりが出てきている。その中で、美術教育は、全国に先駆けて、学校と美術館、その間をコーディネートするNPO（子どもの美術教育をサポートする会）との三者による連携授業に取り組んできた。元草津市老上小学の校長（現滋賀県総

合教育センター所長）で、この取り組みを始めた馬場輝代さんは「連携授業を始めた当初は、まだ教えるのは教師の仕事という意識が強くあり、他者が教育の現場に入り込むことに抵抗がありました。しかし、子どもたちに本物に触れる楽しい授業を体験させてあげたい、という想



学校とNPOが繋がる ～開かれた学校から見えてきたこと



学芸員と大学生スタッフによる連携授業の風景。

様々な苦労があったという。しかし、その困難を乗り越え、見事に授業ができたのは、両者の想いに耳を傾け、何度も何度も調整に奮闘されたNPOの存在があったからだ、力を込め語られる。通常、こうした一つの連携授業を行うまでに約半年ほどの準備期間を要するのだという。先生側にも当然負担はかかる。しかし、本物の美術品に触れたり、プロから学ぶ授業には深みがある。また、関わる人が複数になることで、先生が一人では見られていない部分を発見することができる。この授業で、三者とも大きな手応えを感じたという。しかし、事前の準備

いは私やNPO、美術館の方はみな同じでした。」と当時の状況をこう振り返る。組織も成り立ちも違う学校と美術館が一つの授業を作り上げるまでには

を怠り、互いにもしくはどちらかがもたれ合うような形で話が進められると最終的には不満が残るのだという。大切なのは、子どもたちのために皆が主体的に取り組む姿勢である。

開かれた学校運営については、行政側も「コミュニケーションスクール」制度の導入や「学校公開週間」の制定など様々な取り組みが行われている。

学校は今、多様な主体と連携して子どもを育てていくことが求められている。学校での授業や経験は、子どもたちにとっては一生に一回のものである。しかし、学校は今、何もかも受け入れて、パンクしそうな状況だという。馬場さんは、「学校では、子どもたちに基礎学力をつ

けると同時に、人との関係づくりなど社会的な学習もしていかなければならないと思います。その中で、特に後者の部分については、色々な人の力を学校側もとり入れていくことが大切ですし、必要な事です。」と語る。

近年、科学や国際理解、スポーツ、情報教育など様々な分野で学校とNPOの連携が進んでいる。学校はNPOの力をうまく取り入れ、NPOも学校を通して子どもたちに自らの想いを伝える。両者のこうしたWIN-WINの関係づくりを進め、これからはますますつながりが広がっていくことが期待される。

(インタビュー・記事 皆黒)

「子どもの美術教育をサポートする会」



- 設立：2000年
- 目的：すべての子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を与え、豊かな感性と心を育てる。
- 活動内容：
  - ①学校・地域と美術館・博物館との連携授業のコーディネートとサポート
  - ②教育関係者への研修
  - ③文化ボランティア養成講座 など
- 会員数：45名（大人15名と学生30名）

小学校との連携授業からスタートし、中・高・公民館・保育園などへと活動の幅が広がる。2000年にスタートした連携授業が、今年はずでに小・中・高校・養護学校等約30校で実施。昨年の年間授業回数は50回、これまでに関わった生徒数は約2万人。子どもたちの普段と違う輝く表情、その笑顔から、相談依頼校は年々増加している。2003年～2005年5年には文化庁の「文化ボランティア推進モデル事業」として採択され、全国的にも先駆的な活動事例として、文化庁長官が視察に来ている。今年は、学生文化ボランティア、大学との連携、文化行政との連携による、子どもたちへの文化芸術体験の仕組みづくりに力を入れている。7年間の活動を通して、滋賀の文化力を生かした次世代教育支援の可能性は大きいと痛感している。

※2005・2006年おうみNPO活動基金助成採択先



「税務」について知りたい②  
年末調整について

Q 私にはNPOの経理を担当しています。「年末は税務関係の事務が大変」と聞いたのですが、何をすればいいのかわかりません。どんなことをすればいいのですか?

A 給与の支払があるNPOの場合は、十二月に「年末調整」という事務があります。また、翌年一月初旬までに「法定調書の作成」をして、税務署に提出しなければなりません。

「年末調整」とは?

毎月、職員の給料から「所得税」を徴収して、税務署に納めてこられたかと思いますが、十二月で一年間(一月～十二月)の給与総額が確定しますので、その段階で改めて一年間の所得税を計算しなおし、多く所得税を納めていた場合には、職員に超過分を還付(返金)します。逆に、不足する場合には、職員から不足額を徴収します。この一連の手続きを「年末調整」といいます。この事務は、確定申告に代えてその年の所得税の納税を完了させるものです。

事務の流れ

ここでは、細かな事務処理方法については省略し、何をするかのみ紹介します。

- ①「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」の記載内容に変更がないか、職員に確認してもらう。
- ②職員に「給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書」を提出してもらう。
- ③「給与所得・退職所得に対する所得税源泉徴収簿」を完成させ、年末調整を行う。
- ④③をもとに「給与所得の源泉徴収票」を作成し、職員に交付する。
- ⑤税務署に「平成〇〇年度給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」、「給与所得者等支払状況内訳書」、提出範囲に該当する人は「給与所得の源泉徴収票」等を提出する。
- ⑥④で作成した「給与所得の源泉徴収票」は複写式になっており、同時に「給与支払報告書」が作成できるようになっているので、「給与支払報告書」は、職員の住所地の市町村へ送付する。
- ⑦所得税の過不足額は、十二月分の所得税で調整をし、納付が必要な場合は、原則として翌月十日までに納付する。

※一連の用紙や説明書は、税務署で入手することができます。(給与支払事務所等の開設届出書)を提出しているNPOの場合は十二月までに税務署より関連書類が送付されてきます。また、「年末調整説明会」が毎年十一月頃に開催されますので、税務署にお問い合わせください。

「法定調書の作成」とは?

法定調書は、法律の規定により、一定の支払をした場合に所定の調書を作成し、本人に送付するとともに、提出範囲に該当する人がいる場合は、税務署にも提出するよう義務づけられているものです。例えば、一年間(一月～十二月)の間に報酬(謝金)の支払いをしたことがあるNPOの場合は、「報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書」を作成して、本人に送付するとともに、年間一人五万円を超える支払があった場合には、税務署にも提出が必要で。

Sekenよし

企業の社会貢献や  
市民・行政との  
協働etc.をご紹介します

滋賀銀行営業統轄部  
しがぎんハローサポート  
フリーダイヤル0120-21-3560  
http://www.shigagin.com

創立七十周年を記念して「エコプラス定期」の取り扱いを開始。一人ひとりの紙資源節約分を滋賀県内の「学校ピオトープづくり」を支援しています。

滋賀銀行は一九八四年に、社会福祉法人しがぎん福祉基金を創設。これまでに、実験的・開拓的な福祉活動を支援し、助成累計は三三三件・二億五千万円に達しています。また、「クリーン

バンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネ活動や森づくり活動など環境経営にも力を注ぎ、「四方よし」(「売り手よし、買い手よし、世間よし、環境よし」)をモットーに、CSR(企業の社会的責任)の充実に取り組んでいます。

営業統轄部個人推進グループでは、創立七十周年を記念して二〇〇三年に、環境対応型金融商品「エコプラス定期」の取り扱いを開始。これは、ATMやテレホンバンキング、インターネットバンキングなどによるペーパーレスの定期預金の預入れごとに、一件あたり申込み用紙の紙資源節約分として七円を滋賀銀行が負担し、滋賀県内の環境保全活動を支援するものです。預金者には、店頭表示金利より〇・〇三%がプラスされます。開始当初より、拠出金は「おうみNPO活動基金」に寄付されてきましたが、現在は琵琶湖や自然環境の保全に取り組み滋賀県内の「学校ピオトープづくり」の活動資金に活用されています。



①(右から) 営業統轄部の北川さん、田中さん  
②エコプラス定期リーフレット  
③エコプラス贈呈式  
④山東東小学校のピオトープづくり

今年六月に、学校ピオトープづくり第一・第二号として水口小学校と山東東小学校へ合計百万円が寄贈されました。学校ピオトープづくりにより、未来を担う子どもたちが、自然の仕組みについての体験を通じて、命の大切さを学ぶ取り組みが広がり始めています。



# 元気探し隊

G E N K I  
S A G A S H I T A I

# NPO

11月3日「文化の日」  
文化

学生有志企画団体 U・i・si  
ユージ

学生たちが「街中で展覧会」を開催！  
地域の人々との連携で生まれた「アートプロジェクト」

今年の二月、大津市堅田で開催された「街角の展覧会」は、旧市街地の空き家や店舗、道路、湖岸などに、百人を越す出展者が彫刻や絵画などを展示し、多くの来場者でにぎわいました。これを企画したのが、成安造形大学で美術を学ぶ学生有志のグループ「U・i・si」です。

「自分たちの作品を見てもらいたい」と思い、そのためにはまず自分たちから動くこと、一昨年、四人で立ち上げました」と代表の南條智彦さん。まず、学内でコンテナギャラリーなどを企画。その後、偶然入り込んだ堅田の旧市街地に自分たちの知らなかった「温かみ」を感じて、「地域と密着した活動」が



●第1回「湖族の郷アートプロジェクト」は、堅田の浮御堂から約1kmの街中に、約130作品を展示。期間中に3600人の来場者を迎えた。

11月20日「世界のごともの日」  
環境

環境学び舎  
わのたね



●堅田駅前の北大津ファンタジックイルミネーション

「わ」のたねをみんなまで広げよう！  
楽しく気軽に環境教育を

環境学び舎「わのたね」は、滋賀県に関わる若者が、自然豊かなこの湖国に根を下ろし環境教育を広めようと集まったグループです。現在、事務局を担当する三井さんは、大学入学と同時に滋賀県に移り住み、対岸が見えないほどの北湖の広さにまず感動したとか。

「わのたね」では、環境のことを考へながら生活を送る人が少しでも増えることをめざして、楽しく気軽に体験できる環境教育を行っています。現在、活動メンバーは五名、二十歳代の若さあふれるメンバーです。環境教育に関する専門知識を駆使した、その活動内容は意欲的でユニークです。一泊二日で



●事務局の三井直美さん

イキイキとした暮らしや、地域の魅力を創るために、ボランティアや市民活動を広めようと日夜奮闘している元気なNPOを探し出して、応援していきます。

12月9日「障害者の日」  
福祉

ハートフル・プラザ  
「誰もにやさしい  
まちづくりを進める会」

まごころからユニバーサルデザイン  
誰もにやさしいまちづくりを目指して

車いすマークが描かれた駐車場をよく目にするようになりました。このスペースは、車いすの利用者（特に運転者）が、乗り降りできるように、広さや場所が配慮されています。でも健康者の車が停められている場面を時々見かけます。「急いでいた」「ここが空いていた」ので、つい停めてしまった。あなたはそんな経験はありませんか。

ハートフルプラザは、長浜市が一九九八年に策定した「長浜市障害者や高齢者にやさしいまちづくり計画」に関わったメンバーが中心となって、計画後も民間レベルでまちづくりを実施



●会長の藤井伊佐美さん



出来ないかと思いい立ちました。堅田の商工会が中心となって活動している「湖族の郷実行委員会」主催のイベントに参加。「実行委員会の方々が学生を温かく迎え入れてくれたことに感動して、「湖族の郷アートプロジェクト」の構想が生まれました」と南條さん。仲間を募り、出展者を募集し、地元住民と協力して開催されました。



●「U-si」のメンバー。県外出身者が多い

「作品をただ飾るというのではなくて、街に向いてそこで作るんですね。ファッションショーではモデルになってくださったり、街の皆さんとの関わり合いが楽しかったです」と、十二月の第二回目を準備する学生代表の兼古督士さん。二回目は、大津市主催の「北大津ファンタジックイルミネーション」のイベントと連動。「ワークショップなど、住民の方を巻き込んだ参加型のものにしていきたいと思っています」。

●U-si代表の南條智彦さん、副実行委員長の兼古督士さん、広報部の堅田真美さん

「U-si」の地域住民と連携する展覧会づくりとして、この秋から交流スペースのある常設展示場「アートセンターナガハマ」をオープン。「美術をより多くの人に知ってもらい、自分たちも刺激をもらって成長していきたいですね」とメンバーは期待します。（編集ボランティア 松井由美子）



### 学生有志企画団体 U-si

代表●南條智彦 設立●2005年 運営メンバー●学生約30人  
連絡先●090-2119-8029 (南條携帯) e-mail: info@u-si.net URL: http://u-si.net

行われた「こどももキャンプたけたけ探検隊」。定員二十人に八十五人の応募があるほどの大人気。竹を切る場所から始め、竹細工をし、作った箸でご飯を食べたり、どんぐり鉄砲で遊んだり：竹づくしの二日間を企画しました。今でも竹の箸を大切に使う子どももいるそうです。

また、大人も自然を好きになり、遊具などが何もない「素」の自然の中で遊ぶことの大切さを気づいてほしいと、子ども会や保育園の職員研修などの要望にこたえるオーダーメイドプログラム（自然教室など）を実施しています。

そして、もうひとつの活動の秘密はフィールドを持たないこと。自然があれば、活動場所はどこでもOK。室内でも行います。このフットワークの良さが「わのたね」の魅力ともいえるでしょう。

仕事をもちながら活動しているため、制約も多いのですが、人と人、人と自然、そして社会とのつながりを大切にしたい地域づくり「わ」の「環、和、輪、話：」一人ひとりがいろんな「わ」の種を少しずつ蒔いていこう、いつかきつとみんなが〇になる。そんな思いがこめられた「わのたね」のホームページを一度のぞいてみてください。メンバーの情熱が伝わってきます。



●竹細工のキャンプ「たけたけ探検隊」で、グループで竹を選んで切り出している。

### 環境学び舎 わのたね

代表●山田 勇 設立●2002年 運営委員●5人  
連絡先●東近江市佐野町501-20 TEL/FAX: 0748-42-3699  
e-mail: wanotane@s3.dion.jp URL: http://www.h7.dion.ne.jp/wanotane/



●受託の仕事で、甲良町のグリーンフアイターズの活動。どんぐりをお箸で移動させて、時間を競うゲーム。

していこうと結成されました。「人と人、人から人へ心つながるまち長浜」を合言葉に、今では多様な活動を行なっています。

車いす駐車場に対する取組については、これまでシヨッピングセンターなどでキャンペーンを行ってききました。また、「私は車いす駐車場に停めません」の宣誓書に署名し、参加費二百円を出した方には、ステッカー（左の写真）を配布しています。障がい者にとって参加が難しい「曳山まつり」や「北びわ湖大花火大会」には、「さじき」を設営し、利用者に喜ばれています。

「間口は広く、わかりやすいことをしようというのが会のモットーです」と代表の藤井さん。会の活動は他にも紙面に紹介できないほどいろいろありますが、コアメンバーにサポーターが集まって、運営はスムーズだそうです。

「いつでも、どこでも、誰でも」というユニバーサルデザインの、なかでもソフト面を重視し、人とひとの心のつながりを大切に活動が進められています。

●事務局の廣部 猛司さん

●事務局長の前田正史さん



●「ハートフル・曳山さじき」の様子



●「私は車いす駐車場に停めません。」キャンペーンのステッカー

### ハートフル・プラザ「誰にもやさしいまちづくりを進める会」

代表●藤井伊佐美 設立●1998年 会員●約40人 連絡先●長浜市分木町6-38  
FAX: 0749-65-5289 E-mail: info@heartful-p.net http://www.heartful-p.net/



## 淡海ネットワークセンター紹介コーナーができました！

淡海ネットワークセンター入り口掲示板をリニューアルしました！8月から約1か月半の間、インターンシップ実習生として来てくれた学生の2人が、淡海ネットワークセンターを多くの人に知ってもらい、このセンターをより利用しやすくするために、心を込めてつくってくれました！気持ちが伝わるようにと手書き部分が満載です！



## ◎あなたの活動を支援します！機器のご利用はいかがですか？

淡海ネットワークセンターでは、NPOや市民活動団体を支援するため、左記の機器を取り揃えてご利用いただけるようにしております。

機 器	種 類	単 位	料 金
印刷機	マスター代	1枚	50円
	印刷代(紙面を1枚とします)	1枚	1円
パソコン	インターネット	30分	100円
	プリント	1枚	10円
大判プリンター (A1サイズ・幅59.4cm)	フルカラー印刷	10cm毎	40円
	単色カラー印刷	10cm毎	30円
	黒色印刷	10cm毎	20円
コピー	コイン式	1枚	10円
カラーコピー	(紙類にお申し付けください)	1枚	50円
紙折機			無料
ソーダ			無料
電動パンチ			無料
裁断機			無料
パウチ (ラミネーター) (最大パウチ幅 119mm)	パウチフィルムは、100ミクロン厚、150ミクロンフィルムには対応できません		無料 (パウチフィルム持参の場合)

団体のリーフレットやイベントのチラシ、会報づくりなどにご活用ください。

また、NPO・市民活動関連の図書や資料、様々な団体のチラシなどを多数掲載しております。

お近くにお越しの際には、ぜひ一度お立ち寄りくださいませ！

(大判プリンタは、ポスターや横断幕の印刷ができます！一度お試しください！)

## おうみ市民活動フォーラム「新しい応益を考えるマルチパートナーシップの時代」

地域の魅力を引き出すNPOや社会企業が、マルチパートナーシップ時代における新しい公益をつくる重要な担い手として期待されています。このうねりを、21世紀の地域活性化につなげるにはどんな仕掛けが必要なのでしょう。地域づくりに欠かせない行政との協働に焦点を当て、市民やNPOに何ができるのか、参加者の皆様と一緒に考えてみたいと思います。

◆開催日時：11月7日(火) 18:30~20:40

◆開催場所：ピアザ淡海3階大会議室(膳所駅から徒歩12分)

◆参加費：500円(資料代含む)

◆内容：問題提起『滋賀県のまちづくりと市民活動の変遷と今後について』

北村裕明氏(滋賀大学経済学部教授)

事例発表『大学と地域の協働の取り組み』/近藤隆二郎氏(滋賀県立大学環境科学部助教授)

学生事例発表/滋賀県立大学協働プロジェクト

パネル・ディスカッション『新しい公益を考えるマルチパートナーシップの時代』

岩根順子氏(サンライズ出版株式会社代表取締役) 藤原久代氏(マキノまちづくりセンター事務局) 近藤隆二郎氏(滋賀県立大学環境科学部助教授)

コーディネーター：北村裕明氏(滋賀大学経済学部教授)

※参加ご希望の方は、イベント名、氏名、所属、連絡先(TEL/FAX/e-mailなど)をご記入のうえ、淡海ネットワークセンターまで

## わくわく市民活動ゼミナール ~おうみ社会起業塾~

### フィールド調査

### 高知県馬路村&徳島県上勝町

地域にあるモノで億を稼ぐ！地域の自立に力を注いだ東谷氏、横石氏から話を聴く。もちろん百聞は一見にしかず。百聞は一触にしかず！現地から学ぶ。

◆開催日：

11月18日(土) 8:00 大津出発~15:00 馬路村視察

19日(日) 14:00 上勝町視察~大津帰着 21:00(予定)

1泊2日(馬路温泉泊) バス借り上げ

◆参加負担金：35,000円程度を予定(バス、食事、宿泊、保険等の経費)

◆定員：先着20名(催行15名以上)

### ワークショップ『社会起業事業のビジネス構造をつくる』

◆講師：田辺大さん(有)

フォレスト・プラクティス代表

◆開催日：12月2日(土) 13:00~17:00

◆会場：ピアザ淡海

県民交流センター204会議室

◆参加費：500円(資料代・コーヒー・ブレック代含む)

※参加ご希望の方は、イベント名、参加希望コース、氏名、所属、連絡先(TEL/FAX/e-mailなど)をご記入のうえ、淡海ネットワークセンターまで

## 「おうみNPO活動基金」への ご寄付ありがとうございました

去る9月12日に、しがぎんリースキャピタル株式会社さまから「おうみNPO活動基金」にご寄付をいただきました。滋賀県内のNPO活動支援に大いに役立たせていただきます。誠にありがとうございました。

SLC

しがぎんリース・キャピタル株式会社

上記に関するお問い合わせは、淡海ネットワークセンターまで！ TEL：077-524-8440 FAX：077-524-8442

E-mail:office@ohmi-net.com http://www.ohmi-net.com/

## 1・2月号の特集アンケート

## テーマ：会社法改正

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで淡海ネットワークセンターまでご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。

▶ アンケート締切：11月末日

Q1.社会をよくするための起業をしたいと思いますか？

a.はい b.いいえ

Q2.組織の形態は何が良いと思いますか？

a.会社 b.NPO法人 c.公益法人 d.NPO e.その他

Q3.事業型NPOをするならどんなジャンルで？

a.福祉 b.環境 c.スポーツ d.文化 e.国際 f.その他





# 支える・つなぐ・結ぶ情報BOX 11・12月

伝言板に掲載できなかった情報は、センターのホームページに掲載しています。URL●<http://www.ohmi-net.com/>

## 助成金情報

### 平成19年度子どもゆめ基金助成募集

- ①子どもの体験活動助成募集 ②子どもの読書活動助成募集  
③子ども向け教材開発・普及活動助成募集

#### ①子どもの体験活動助成

助成対象●子どもの健全な育成を図ることを目的として、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの間に行われる、子どもを対象とする体験活動に対して助成します。

助成金額●1.助成金の額は、助成対象経費合計額又は当該活動に係る経費総額から収入額を差し引いた額のうちいずれか低い額を上限とし、審査委員会の議を経て決定します。2.助成金の額は、2万円以上2,000万円を限度とします。3.助成金の額の標準額は、市区町村規模の活動は50万円、都道府県規模の活動は100万円、全国規模の活動は300万円とします。

#### ②子どもの読書活動助成募集

助成対象●子どもの健全な育成を図ることを目的として、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの間に行われる子どもを対象とする読書活動に対して助成します。

助成金額●1.助成金の額は、助成対象経費合計額又は当該活動に係る経費総額から収入額を差し引いた額のうちいずれか低い額を上限とし、審査委員会の議を経て決定します。2.助成金の額は、2万円以上2,000万円を限度とします。3.助成金の額の標準額は、市区町村規模の活動で子どもを対象とする読書活動の場合は10万円、子どもの読書活動の支援活動の場合は50万円、都道府県規模の活動は100万円、全国規模の活動は300万円とします。

#### ③子ども向け教材開発・普及活動助成募集

助成対象●子どもの体験活動や読書活動を支援・補完することを目的として、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの間に行う教材開発・普及活動に対して助成します。

助成金額●1.助成金の額は、助成対象経費合計額又は当該活動に係る経費総額から収入額を差し引いた額のうちいずれか低い額を上限とし、審査委員会の議を経て決定します。2.助成金の額は、2,000万円を限度とします。3.助成金の額の標準額は、500万円とします。

応募締切●子どもゆめ基金部助成課に提出する場合：12月5日(当日消印有効)

滋賀県の窓口へ提出する場合：12月1日必着

★滋賀県の応募窓口：滋賀県教育委員会事務局 生涯学習課

TEL.077-528-4650/FAX.077-528-4962

詳細HP●<http://yumekikin.niye.go.jp/>

☎独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL:03-5790-8117,8118

### トヨタ財団 地域社会プログラム

＜地域社会の再構築を目指して-支え合う暮らしのち-＞  
助成分野●以下の2分野です。

(1)活動助成/地域社会の再構築と活性化を目指し、地域に暮らす人々が主体となった、持続的な実践プロジェクトへの助成。あるいは、実践プロジェクトの地域内での相互連携の取り組みへの助成。

(2)成果普及助成/(A)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」。(B)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを地域間で共有し、具体的な問題解決に資する、協働と連携を支える多彩な「広域ネットワーク」。

#### 助成金額●

(1)活動助成/1件あたりの助成金の上限は200万円です。

(2)成果普及助成/(A)「活動記録の出版」:1件あたりの助成金の上限は100万円程度です。(B)「広域ネットワーク」:1件あたりの助成金の上限は400万円です。

実施期間●2007年4月1日から2008年3月31日の1年間とします。

応募期間●10月1日～11月20日(当日消印有効)

詳細HP●<http://www.toyotafound.or.jp/>

☎財団法人 トヨタ財団 地域社会プログラム係

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 TEL:03-3344-1701

### 東洋ゴムグループ環境保護基金

助成団体●積極的に環境活動を行っている団体であれば、法人でなくても可です。また、団体構成員の多寡は問いません。

助成が不可能な団体及び使途●◇営利を目的とする団体または使途。◇政治や宗教上の活動を目的とする団体。◇債務の弁済や家賃などの支払いを目的とする使途。◇活動が1年未満の団体。ただし、団体の主旨、計画などにより適当と認定された場合は、助成を受けることが出来ます。◇原則として教育・研究機関の本来の活動として認定される使途、ただし弊社の運営委員会が承認した場合はこれに限りません。

スケジュール●●募集:毎年10月～12月 ●審議:翌年1月～3月 ●助成:翌年4月以降

☎東洋ゴム工業株式会社 品質環境センター 環境推進グループ

〒550-8661 大阪市西区江戸堀1-17-18

TEL:06-6441-8774



Relay Essay

おのみ未来塾生  
リレーエッセイ

[4期生]

石川 悠子さん



先日、7期生の中間発表会に行きました。スゴイ！進化してますねえ。私たちはグループ研究さえ出来ず、個人発表してしまった超出来ん坊。でも、当時運営委員長だった織田先生が“最高殊勲賞”って言って下さって…。涙出そうでした。失敗もマル、の未来塾。住んでいるながらその魅力を知らず、興味さえ薄かった私が、滋賀を故郷として愛し、誇りに思うようになり、尊敬する先輩や仲間と出会い、

## 失敗もマル!!!の未来塾

今もずっとつながってられるのは、かけがえのない未来塾のおかげ(塾長日高先生のおかげ!!!)、感謝いっぱいです。私は今、演劇によるコミュニケーションの力にぞっこん惚れこみ、来春からの本格始動に向けて画策中。支えてくれているのは、未来塾で学んだ日々、そして心強いネットワークなんだと改めて感じています。仕事場は瀬田の共働作業所カフェ「ふおれすとデイズ」(077-543-2844)です。お近くを通られましたら、ぜひ、お立ち寄り☆

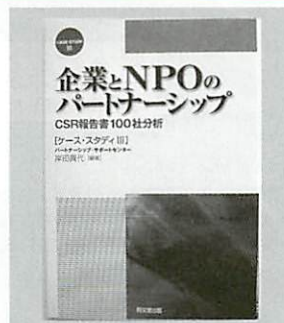
※「おのみ未来塾」は、地域課題に取り組むリーダーを目指す人が集う塾で、現在7期生・8期生が学んでいます。これまでに約140人が卒業し、各地で「地域プロデューサー」として活躍しています。

### 新刊書籍案内

#### 「企業とNPOのパートナーシップ」

CSR報告書100社分析 [ケース・スタディⅢ]  
著/岸田真代 同文館出版 2,200円+税

企業のCSR報告書や環境報告書を全国100社から取り寄せ、NPOの視点から分析を行っている。NPOの関わりのあるなしでCSRの取組に差がでているか、企業そのものに変化は見られるのか、など企業のCSR推進にNPOは何ができるかに迫ってみる。



### 滋賀会館シネマホール 11・12月の上映予定

『明日の記憶』『時をかける少女』

『幻の湖』『死者の書』

『やわらかい生活』ほか

#### ◆リクエスト受付中!

上映してほしい作品名と住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで滋賀ネットワークセンターまでお送りください。

・各回入替制  
・料金は作品によって異なります  
・毎週水曜日1,000円均一サービス  
・毎週木・金曜日の初回分  
16:00以降の回1,200円均一サービス  
TEL:077-522-6191  
滋賀会館シネマホール

▶1月・2月の掲示板 情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、12月1日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。



# カレンダー 11月・12月

木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
2	3 文化の日	4 ユネスコ憲章記念日	5
9 119番の日 フォーラム滋賀大会	10 肢体不自由児愛護の日	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 12月 映画の日 世界エイズデー	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 国際障害者デー
16 国際寛容デー	17	18 土木の日 わくわく市民活動ゼミナール	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 国際障害者デー
23 勤労感謝の日	24	25 26 27 28 29 30 31 国際障害者デー	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 国際障害者デー
30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 対米英開戦記念日	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 障害者の日	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 世界人権デー
7	8 対米英開戦記念日	9 障害者の日	10 世界人権デー
14	15	16 電話の日	17
21	22 改正民法公布記念日	23 天皇誕生日	24
28	29	30 地下鉄記念日	31 大晦日

★ネットワークセンター休館日

## NPOカフェ見聞録

地球や人にやさしい  
スローなカフェを紹介します

### 「カフェテリア『結』紀伊國屋」

成安造形大学にあるこのカフェテリアは、2004年10月に学生たちが主体となって、自力建設方式で制作されました。柱は信楽の間伐材、壁の素材にはわらが使われるなど、環境にやさしい造りがポイントです。キッチンを運営しているのは「ブルーベリーフィールズ紀伊國屋」。地産地消を基本にメニューをそろえ、「結特製カレー」(500円)や玄米オムライス・サラダ・スープのセット「LOHASディナー」(900円)が人気に。大学と地域を結ぶ試みとして注目されています。

学生たちがセルフレジビルドで制作  
大学と地域を結ぶ交流の場

【問】 カフェテリア『結』紀伊國屋  
大津市仰木の里東4-3-1  
成安造形大学内  
TEL/FAX.077-573-5539  
【11:30~20:30 日曜日】  
JR雄琴駅より江若交通バス「成安造形大学前」下車。その他でのご来店の方法は事前にお問い合わせください。



## 編集後記

パワフルな団塊世代に負けがちな、何かと若者のパワー不足を感じる時代ですが、「夢」や「やりたいこと」を持つ若者は魅力的ですね。人任せではなく、自分たちから動こうという姿勢の「U-si」のみなさんの活動が、後輩に受け継がれ、地域に根付いていってくれることを期待します。

(編集ボランティア 松井)

学生時代に、障がいをもった子どもたちのキャンプなどのお手伝いをしていましたが、就職後は続けることができなりました。若い人たちが、志をもってずっと続けることができるには、どうしたらいいのか、考えさせられました。そして、自分自身の再チャレンジも!

(編集ボランティア 高山)

## 淡海ネットワークセンター (財)淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20  
■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442  
■http://www.ohmi-net.com/ ■E-mail:office@ohmi-net.com

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)  
火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日・祝日/9:00~17:00

※淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おのみネット」は次のところに配布しています。各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、粟東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、滋賀県信用組合、郵便局(ボランティア貯金窓口)、公民館 など

※バックナンバーはホームページでご覧いただけます。

※最新情報はメルマガでお知らせしています。ご希望の方は上記メールアドレスまで。

ホームページアドレスと  
e-mailアドレスが  
変更になりました。



©無断転載を固くお断りします。